

ミニ講座 幼児期の親子の関わり方

令和7年9月8日に第2回ミニ講座を実施しました。長崎大学教育学部副学部長の内野成美先生を講師に迎え「幼児期の親子の関わり方」について、ご講演をいただきました。

近年、少子化や世帯構造の変化、SNS普及等の様々な要因で、私達を取り巻く環境は著しく変化してきています。しかし、このように社会が変化しても「変わらないもの」があります。それは「子どもたちの発達段階」です。「変わらないからこそ、子どもたちの発達は大切なのです」という内野先生の言葉が印象的でした。乳児期から青年期までの発達について丁寧な説明があり、子どもたちの発達段階で大事にしなければならないことを再認識することができました。そんな大事な発達段階の時期に子どもと関わる私達大人（親）が大切にしていけることとして、「子どもを支えるABC（基本のステップ）」についてのお話も学びになりました。基本のステップとは（A）認める （B）相手も自分も信頼する （C）続ける です。

また、子どもと話すときは「相槌（ああ、いいねえ、うんうん等）」をしながら聴いたり、「メッセージ（私は〇〇と思うよ）」で伝えたりすることも大切だということです。子どもたちが、安心感をもって過ごせるように、関わり方を考えていきたいと思う講演でした。

